



副腎静脈サンプリング検査を受けられる方へ

◆ 私たちは、入院生活や治療が順調に進むように下記の計画に基づき援助します。

部屋番号： _____

患者様ご氏名： _____

主治医： _____

受持看護師： _____

	検査前日 / ()	検査当日			検査翌日 / ()
		検査当日 (検査前)	検査中	検査後	
活動	安静度 他に検査がなければ、制限はありません。	病棟から出る時は、看護師に声をかけて下さい。		<ul style="list-style-type: none"> 検査後1時間の安静中、寝返りや起き上がりはしないで下さい。右膝を立てないで下さい。 1時間後の安静解除時、医師と看護師で座位、立位をとり気分がわるくならないことを確認します。 安静解除後はしゃがんだり、急に立ち上がらないで、出来るだけベッド上で過しましょう。 	特に制限はありません。
	排泄	尿の管が入ります。		検査後、止血の確認がされ安静解除になったら尿の管を抜きます。	
	清潔	シャワー浴できます。	入浴は出来ません。 →		
食事	他の検査で制限がなければ通常通り食事が出来ます。	() 食は絶食、飲水は可能です。		止血の確認がされたら飲食可能です。	
検査		副腎静脈サンプリング本番 ストレッチャーで一階のレントゲン室へ移動します。			
処置	右の足の付け根の剃毛を行います。一人で出来る方はバリカンをお貸しします。(後で看護師が剃毛部位を確認します)	検査前から点滴を行いません。(右手に点滴、左手にも採血用の管が入ります)。		消灯前に主治医の指示で左右の手、どちらかの点滴の管を抜き、残した管は翌日の検査用に使用します。(翌日、検査がない場合は両方とも抜く場合があります)	残った点滴の管は検査に使用されます。
注射					
内服薬	医師が指示した内服を服用していただきます。	食事の中止に伴う内服方法の変更は、事前にお知らせします。		医師が指示した内服を服用していただきます。 →	
教育、説明、その他	<ul style="list-style-type: none"> 検査前日までに主治医より、副腎静脈サンプリング検査についての説明があり同意書を提出していただきます。 ディスポパンツを一枚、準備してください。 	起床後、お渡しする検査衣に着替え、ディスポパンツを着用して下さい。	検査中、気分が悪かったり、痛みがあるときは検査室の看護師に伝えて下さい。	膀胱留置カテーテルを抜いた後、血圧低下がなく、歩けることを確認します。 その後もふらつきが強いつきは看護師を呼んで下さい。	後日主治医より、検査結果と今後の治療方針について説明があります。

この説明用紙は、治療のおおよその経過をお知らせするものです。状態に応じて予定が変更になることがあります。ご不明な点がございましたら、お気軽におたずねください。